

刊夕日一卅月三



定価一紙五分、一月一元五角、三月四元、半年八元、一年十五元、郵費別
廣告料五割、社説一行五分、社説一行五分、社説一行五分、社説一行五分
日曜祭日の日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
社址 常磐毎日新聞社
電話 常磐毎日新聞社

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

一、現代化した念珠の意味

念珠を持つといふことは、それが、そのまゝ、佛教信者であることの標幟であり、念珠は信仰の表象であると共に、それを遊にして念珠を持つことにより、信心が得られると云ふ理趣もありません。念珠に關する智識や心得を知つてをらずとも、その功德はございませうけれども、念珠の由來功德をわきまへ、法に叶ふて拜みますならば、一段と功德に恵まれヨリ一層、信心が得られる道理と思はれます。

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

二、念じゆの由來縁起

至誠を表現するために互ひに念じゆを交換するといふ風にまで念じゆは現代的に意義づけられて來ました。心ある佛教信者は、それを人前に示すと否とに拘はらず、二六時中これを携へてゐる人も少なくはありませう。行住坐臥に念じゆを手にすることは、み佛と共に起地をも現成するでありませう。無信の地に信を植へ、無佛の里に佛縁を布く上にも、念じゆの普及は、現代を淨化するために、大きな力があることを信じます。

念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

三、念じゆの由來縁起

釋尊が靈鷲山におゐてに「佛説木けん子經」によりますと、その由來が次ぎの如く述べてあります。

文藝募集

たならば現世には煩惱の障りを除き未來には天上の樂果無上の果徳を證することが出来る」と説かれました。

景品付大賣出し

来る四月二十五日迄……
八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈致します。是非御買上の程御願ひ致します。
平町停車場通り
星野時計店

難 波 院

内科一般

醫學博士 難波 睦

平町大町新川端 電話五〇二

感じの良いい！
客に親切な……

藥種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他

阿部藥舖
平・田町(松月堂)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話五一三番

江戸前料理

鳥金ぶら 大和漬

は軽くしてうまく味もよく滋養に富む
ぜひ一度御試食下さい

出前 迅速 錦水

電四五四番

二十八回生徒募集

非常時の女性に促す

婦人職業の近道に
産婆看護婦を御選び下さい
それには成績も最もよいと定評のある

平南町 産婆看護婦學校へ
△申込み成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より

平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ子
電話三〇七番

松ヶ岡公園櫻花廣告燈規定

- 一、櫻花廣告燈は満開の時場を見斗ひ約十日間点火するものとす。
- 二、櫻花廣告燈は左の二種に定め申込氏名、屋號、商品名等を記載点火するものとす。
- 三、當組は特に左記破格料金にて奉仕致します。
(イ) 岐阜形提灯壹燈二付 金壹圓五十錢
(ロ) 六角燈雪洞壹燈二付 金貳圓貳十錢
- 四、廣告圖案等は主催者に御一任を願ひます。
- 五、不可抗力の爲め破損せる場合は止を得ざるものとす。
- 六、申込切は四月五日迄とす。

主催 平消防組
後援 平町役場

戰病死者の遺族を慰安

映畫館に招待

平町では同町在住の戦病死者の遺族約二百名に對する慰安の爲來る四月十日の忠魂祭の當夜午後六時から平館、世界館の兩映畫館に招待し一夕の歡を盡すと

轉校兒童が級友に送られて

名残り惜し氣に第三校へ

既報來る新學期より平第三小學校へ移管轉學すべき第一校の八十八名第二校の九十名は本日恩師及び級友と別れて新たに第三校へ通學の爲め兩校共午前九時に全校生徒が各々校庭に整列して告別式を行つた後轉學兒童は校長及び受持訓導に引率されて級友と名残を惜しみつつ第三小學校に向へば第三校では新たに迎へる級友の爲め全校生が校庭に集合して心からの歡迎の式を行ひ第一、第二の轉學生百七十八名を新たな校舎に迎へた

警女編入

合格者決定

既報昨日に行はれた警女の本年度編入試験は十九名の志望者中合格者左の如く

- 磯上純一 矢吹仁市郎 鯨岡達郎 猪狩興平 菅原徳彌 岸野剛 栗城越 佐藤誠 萩原三郎 藁谷敏夫 酒井洪 木田武夫 江尻泰良 坂本行藏 谷島清 星明 志賀昌幸 小磯武 青木秀夫 鈴木保光 草野邁 吉田光弘 長谷川恭敬 中野目弘明 玉川正 助川新 猪狩悌二 高久昇 小林舜三 佐藤春雄 小坂隆通 野崎文彦 國井好治 磯ヒ久美 關内弘吉 本馬孝雄

警中入試合格者

— 受験番號順 —

- 小泉道朝 隈元國輝 柴田讓 秋山輝男 安齊憲次郎 櫻村富三郎 山崎福次郎 有賀敏夫 齊藤一男 増井弘次 坂本貴博 根本康實 志賀久見 酒井滿 齊藤益雄 後藤章 大平武男 丹唯夫 上坂常磐 鈴木正 豊田豊 鈴木將夫 阿部一 二 堀英一 佐藤忠 安齊光男 江尻昇賢 秋山慎平 中山廣茂 緒形惟孝 青木安晏 古川淳 菅田勝之 吉田幸男 廣田徳一 和田

平商入學

出身別調査

過般發表された平商業學校本年度入學生百十名を出身町村別に見ると地元の平町が最高で卅四名を算し内譯左記の如くである

- 平三四 湯本一三 好間十二 内郷八 神谷六 高久 茨城縣各四 赤井江名 草野 勿來各三 植田 泉 飯野 警崎各二 平窪 久之濱 夏井大浦 大野 小川 上遠 野各一

名選手

平商を去る

平商業學校五年生菅原金一君は同校野球部の名一壘手として縣下に名を走せ守備に打撃に平商のピカ一と云はれた同君は今回家事の事

精勤者表彰

警中始業式に

警中では來る四月の始業式當日昨八年度一ケ年間の精勤者として一年百廿五名、二年百十五名、三年百十一名、四年八十九名、計四百四十名の表彰を行ふ

工事へ寄附

平町搔樋小路堀江工業株式會社社長江口忠一氏は同氏請負になる小川江水利組合に七千一期工事の完成を機として昨日小川江水利組合に七千八百四圓五十錢を寄附した

高久青年總會

高久村の青年團在郷軍人の聯合春季總會は昨日午前十時から同村小學校に於て開かれ柴田郡農會技手の農村更生運動に關する講演白石玄海氏の軍事講演があつた出席者約百三十名盛會を呈した

平職業紹介所報告

- △料理人 尋卒 給料面談
- △出前持 十八—二十六才
- △尋卒 月十圓位
- △荷馬車屋 二十才以上 日給一圓三十錢
- △職を求める方
- △商店員 十八才 商卒
- △女中 二十才 尋卒
- △事務員 二十八才 商卒
- △電氣職工 二十九才 商卒
- △事務員 十九才 警女卒
- △商店雜役 十九才 尋卒
- △事務員 二十六才 高卒

平町人事

- △仲間町一三 佐野常太郎 氏二男忠明 回 婚 姻
- △古鍛冶町一二 飯島徳次郎氏(二七)岩本ヨッさん(二四)

回死

- △新川町五 當時双葉郡大野村大字不野上土淵友次(一〇)
- △四軒町一五 原谷清氏四男清(五ツ)
- △彌宮町一〇 吉成長次郎(六七)

防水マント賣出し

可愛らし御用にとりて
可取命を
の取命を
の取命を
の取命を

- 男 用 紺サージ金釦服 3.80 ヲリ
- 黒小倉服 90 ヲリ
- 上口 1.60 ヲリ
- 女 用 紺サージ制眼 3.60 ヲリ
- 紺セルレー服 2.80 ヲリ
- 防水マント 片ゴム 1.20 ヲリ
- 中ゴム 1.55 ヲリ

ふかや洋服店

- 金太郎 根本桃平 吉田英一郎 小松七郎 根本平四郎 青木利雄 箱崎義弘 鈴木千春 氏田喜八郎 岡野弘平 岡村壽 久保木清 治 鈴木茂 船生静夫 木田多聞 木村忠重 芳賀次男 萩保二 菊田股隆 阿部一郎 高木信人 箱崎貞治郎 水野芳正 上野一夫 鈴木遠平 鈴木普夫 荒川勤 久田武弘 久田隆太郎 鈴木武司 伊藤光政 矢萩芳男 松尾匡博 白川昌利 足立貢一 鈴木敏光 齊藤美實 花野信一 矢内弘三 吉田國榮 國井俊一 戸土雄 四家一郎 松本雄 渡邊武治 東橋雄
- 渡邊浩二郎 澤四郎 坂本豊 御代次男 瀬谷良男 小林弘 小泉美則 橋本通夫 野宮敬一 郷野旺 田晋平 志尾崎仁 渡部信雄 花澤秀道 荒四郎 門野仁 上妻伴吾 宮本英吉 菅野樹昌 阿部俊一 渡邊六郎 菊池惟起 長岡毅 渡邊博行 虫本喜二郎 鈴木弘伸 松本徳男 倉川晴洋 山田三郎 大谷勝之 樋口儀吉 淺田登美男 鈴木龍 大平芳人 岩堀達大野武彦 佐藤清 宮本規福田直右衛門 渡部正男 久野慎一郎 佐藤武之

インチキ貸金會社の 正体暴かる

警視廳のお膝許から

平署が首魁者を檢舉

資金を横領

平町白銀町に「帝都證券株式會社磐城支部」の大看板を
かけ株主となつて十二圓五十錢を拂込めば拂込額の倍
額或はそれ以上を貸すと稱し金融一掃した中小工業
者及び俸給生活者等の間に宣傳して百五十餘名より一
株五十圓宛二百五十株を募集し同じく小名濱支部にて
は同様の方法にて附近の百二、三十名より二百餘株を
募集したがその後至り關係者が右募集株金を横領着
服し一文の資金融通もしない爲め平署にては被害者側
の續々来る申告に基きこのインチキ會社の正体を暴露
せんと川島司法主任安藤刑事部長の兩氏が東京警視廳
の應援を得て去る二十八日首魁者と目すべき東京市大
森區山王一の二七七八自稱日本大學講師廣島縣生れ太
田哲男(三)を逮捕し警視廳に於て田多羅第一捜査課長
一應取調べの上身柄を引取り平署に押送直ち一嚴重な
る取調べを開始した

名士を連らねて

地方民を眩惑し

膏血を絞る

別項檢舉されたインチキ金
融會社の首魁太田哲男は金
融の途なき小市民を相手と
して一舉に巨萬の富を握ら
んと企て各方面を

奔走して 遂に昨年七
月に至り東京市豊島區池袋
一の一七七七北豊島病院長高
山雅次氏を抱き込み子爵勝

波茂時氏北小路子爵その他
の名士の名を網羅して資本
金七萬圓の帝都融資株式會
社を麹町區山下町東洋拓
殖ビルディング内に設立し
前田高山病院院長を社長に推
し自分は事務取締役に
就任して 事業を開始
したが更に八月に至り帝都

融資の姉妹會社として同社
長の帝都證券株式會社を新
設今度は監査役になつて實
権を握り

實質上の社長として
専横恣肆の限りを盡し愈々
兩社が相携へて株の賣込み
運動を開始先づ無智な地方
民に呼び掛んと千葉縣長野
縣本縣等を始めとして
全國十餘ヶ所に支部

無効保險が

檢舉の發端

悪の社會が交錯

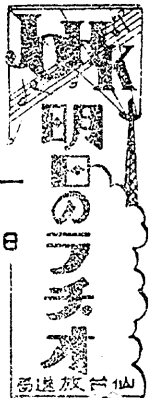
反し恨みの自白

別項「平署がこの大犯罪の
端緒を握つたのは實に偶然
な機會からである磐崎村ト
船尾富國徴兵保險會社外交
員葉谷宗太郎(三)は去る一
月中に内郷村宇吉田某宅に
勧誘にゆき二人の子供に二
千圓の

契約を結び第一回拂
込金五十餘圓を受取りその
後更に一時拂ひとし三百

を設けその地方の名士を支
部長に祭り上げて三十株の
責任を持せ徐々に毒爪を伸
し全國各支部から二千數百
株

三萬餘圓を捲き上げ
てそれを費消し豪奢な生活
を営んでゐたものであると



天 今晩も明も北
西の風天氣良し

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間)
和洋合奏「花吹雪」
「青空」三兵衛「若
葉和洋合奏團 指揮宮野
顯
後六、二五 講演「日本の
醫學」第九回日本醫學會
々頭醫學博士入澤達吉
浪花節の夕
後八、〇〇「鶴權兵衛」浪

花亭愛唱
後八、一七「野狐三次」春
日亭清鶴
後八、四五「孤城落日」
(二)片桐且元最後の巻)
富十子
後九、三〇 時報 ニュー
ス氣象通報 番組豫告
明日 部
後九、〇〇 營養料理 献
立 鶏臘物のキャベツ巻
主料理一里芋とホーレン

草の附合
後九、三〇 子供の
うたとお話し、よかへ
り、美はしの白百合
ハ、仇のかこりと一お話し
復興祭にたまごを贈るわ
け 上澤謙二
前、〇〇〇 復活彌撒
實況 麹町區聖體禮拜會
より中繼
前、一、〇五 三都對肩新
進勝拔將棋大合解説
木村義雄
後〇、〇九(第十一回)選
拔中等學校野球大會試合
實況 女流演藝の午後
後一、二〇 流行歌
後一、四〇 新内明島後眞
夢道行の段 富士松佐賀
尾

後二、〇〇 小唄
後二、一〇 古曲
後二、三五 常磐津 おみ
つ物狂ひ浄るり 常磐津
文字三代
後三、一〇 長唄 吉原雀
唄 早助次
後六、〇〇 子供の時間
唱歌と管絃樂イ人形口梅
に響外數種唱歌宮城縣師
範學校附屬小學校兒童
後六、二五 産業ニユース
後七、三〇 作曲家別現代
歌謡曲集
後八、〇〇 狂言野村萬藏
後八、二〇 漫談
後九、〇〇 浮世節立花家
楠之助

提出するについて

町の辯護士に保證を頼むか
らと五圓を請求して半額二
圓五十錢を受取つたことを
平署で探知、去る八日高橋
を檢舉し菊地警部補主任と
なり嚴重なる取調べを行つ
た處高橋は「自分獨り罪人
になるのは面白くない」と
同人が小名濱

支部の主任として働

帝都證券の内容を暴露し
たので意外にも重大なる犯
罪の端緒を握つた平署では
右事件の報導を禁止すると
共に帝都證券の内状を調査
し遂に確證を得て首魁太田
を逮捕するに至つたもので
ある

運轉手同志

血塗れ喧嘩

松丸太で殴り

被害者は生命覺束なし

二十九日午後四時頃湯本驛
前に於て客待ち中の同町鈴
木稻實方自動車運轉手高橋
彌之助(二)は平町尼子タク
シー方運轉手泉村玉露生れ
大和田保法(三)と營業上の
ことから口論を始め突然彌
之助は附近にあつた直徑五
寸餘の松丸太を以て保法の

木村科醫院

平町五丁目橋際
電話九〇三番

生命危篤尚ほ平署では逃走
した保法の行方嚴探中

銘劍秘笈

【禁無脚轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第九十四回 徳川家に崇る村正

うまく縛られる

鈴木重太郎水上の道場へ来て稽古を済ますと、師範代の横澤、本多、白旗の前へ参り

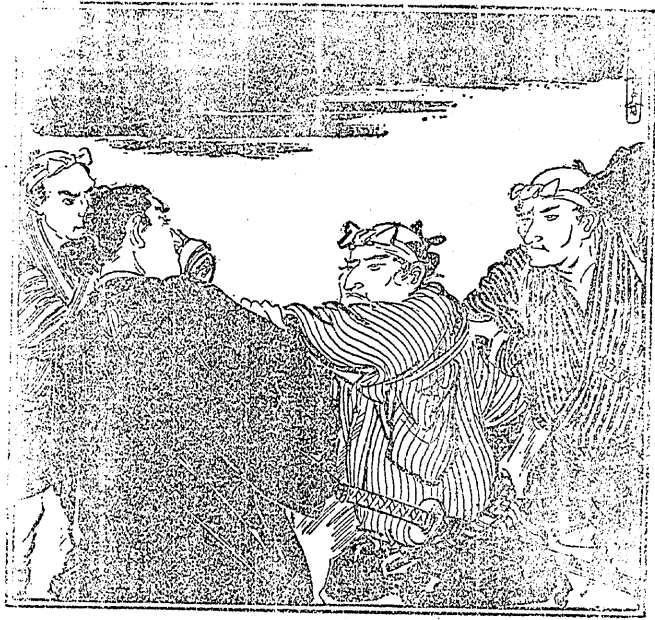
重「エ、先生方、毎度お稽古を有難う存じます」

横「イヤ鈴木氏、尊公は誠に手筋が宜ろしいメキ、上達して我々も骨折甲斐があると言ふものだ」

重「恐れ入ります、就きまして本日お禮の爲一献差上げたいと存じますがお差支へなくば御同道を願ひたいもので」

横「イヤ尊公には毎々馳走になるので、氣の毒に思つてゐる、先日も三人で話し合つたのだいづも、鈴木に馳走にばかりなつて氣の毒であるから、今度は我々で尊公を何處かへ招待して返禮をしようではないかと申して居つたのだナア、兩氏」

白「左様々々今日は一つ吾々に勘定を拂はしてもらはうではないか」
重「どう仕りまして毎度お世話になりますのでそのお禮に致しますこと、決して御斟酌下さいませう」



本「左様か何にしても氣の毒だな」
口先では三人ながら遠慮をしてゐるが、腹の中では、
横「では折角鈴木氏が、云ふのだから今日は吾々御馳走になつて置いて、又後

日にでも此方から招待することにしようぢやないか」
白「成程、それで宜しからう」
そこで三人支度をして本「いや待たせ致した今日は吾々三人の身体を貴公に任せる、何處へでも連れて

行つてもらいたい」
重「有難い仕合せで、手前今日は少し變つた寸法を立てましたので、最初は何處かで一杯差上げましてそれから些と珍らしい所へ御案内致しませう」
横「貴公は田舎者だなどと申してゐるが、餘程江戸馴れてゐると見えて吾々と

した事がございませうので、大きい聲では申せませんが諸方から賄賂を貰つたと見え、碌高の割合には金がございませう」
本「いやさういふこともあるだらう、何にしても貴公は良い月星の下に生れたといふのだ」
重「サアお供致しませう」
横「イヤイヤ、四人連れて世間話をしながら青山一丁目の

横「駕籠屋を呼ぶといつてこの邊は屋敷町、駕籠屋は一寸無からうな」
重「いや手前かねて用意を致して置きました故、呼びさい致しますれば、いつでも参ります」
本「イヤこれは驚いたな、貴公のする事は一々感心させられる、では早速呼んでもらはう」
重「畏りました」
と鈴木重太郎が懐中から取り出した呼笛、ピリピリツと音高く吹鳴らすと、今まで隠れて居りました同心手附御用など三十名ばかりバラバラツツと現はれて三人の周圍をグルリと取巻き

「御用だツ神妙に致せ」と打つて掛つた、吃驚した三人は
横「いや吾々は決して怪しい者ではない」
と言つたが聞かばこそ忽ち打ち倒す、本多は刀を抜いたが酔ふてゐるから働けない三人ながら繩に掛つた

一册の代金で御希望通りな
五册の雑誌が自由に讀める
川崎巡回文庫 電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

白「それといふのも懐中の暖かい故でもあらう、尊公は餘程財産があると思えるな」
重「とんでない事で併し親の代に作事奉行と勤めま

鈴木醫院
平町田町
電話五八番

市原醫院
平町田町(電話一一四番)

金光堂時計店
平町五丁目(釜屋前)
電話一九五

市原醫院
内科小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科梅毒、淋病 市原三三男
入院隨時

入學記念時計賣出し
お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正確な時計及眼鏡を御求め下さい。學生様にかぎり拾ケ年保険付
特 價 金七 圓ヨリ
近眼鏡(玉入) 金壹圓五十錢ヨリ
右三サーピスは 三月十五日ヨリ四月十五日マデ
(小店員數名募集)

阿康藥舖
電話四四番

皆様にはヒヤシモヤケでお困りになりませんが、熱い火や湯でヤケドなされた時でも直ぐツケますればヒブクレにならずに済みます
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。

太乙膏(ヤケド、キリキズ、クサ、はだのアレ、ヒブ、あかざれ、シモヤケ、たぐれ)
キリ印
平町古鍛冶町一〇 專賣店